

“バブルの徒花に群がる男たち。  
甘い蜜を吸ったあとには、  
羽をもがれた二頭の夜の蝶だけが荒野に舞う。”

吉田香奈美は銀座の一流クラブHARUKAに勤めはじめ  
る。オーナーの中島辰男に近づくためだ。

中島は、20年前、不動産会社社長として、香奈美の父が  
都内に経営していたクリーニング店を地上げしていた。そんな  
時トラックの運転手が飲酒をしたままクリーニング店に突っ込  
み、トラックの下敷きになった香奈美の父は事故死する。そし  
て数カ月後には母も弟を連れて蒸発してしまう。

中島の地上げ、父の事故死、母と弟の失踪。20年前の出  
来事は、一流クラブで起きた殺人事件と呼応し、やがて一本の  
糸のようにつながって行く。

ある日、東京国税局が中島が経営する数々の会社を強制捜  
査する。押収された書類から暴かれる事実。それは人知れず、  
闇に葬られた女の悲しい運命でもあった……。